



2013

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター

活用事例集

頑張る企業の皆さんの意欲的な取り組みを支援します。

ふくい産業支援センターのご紹介

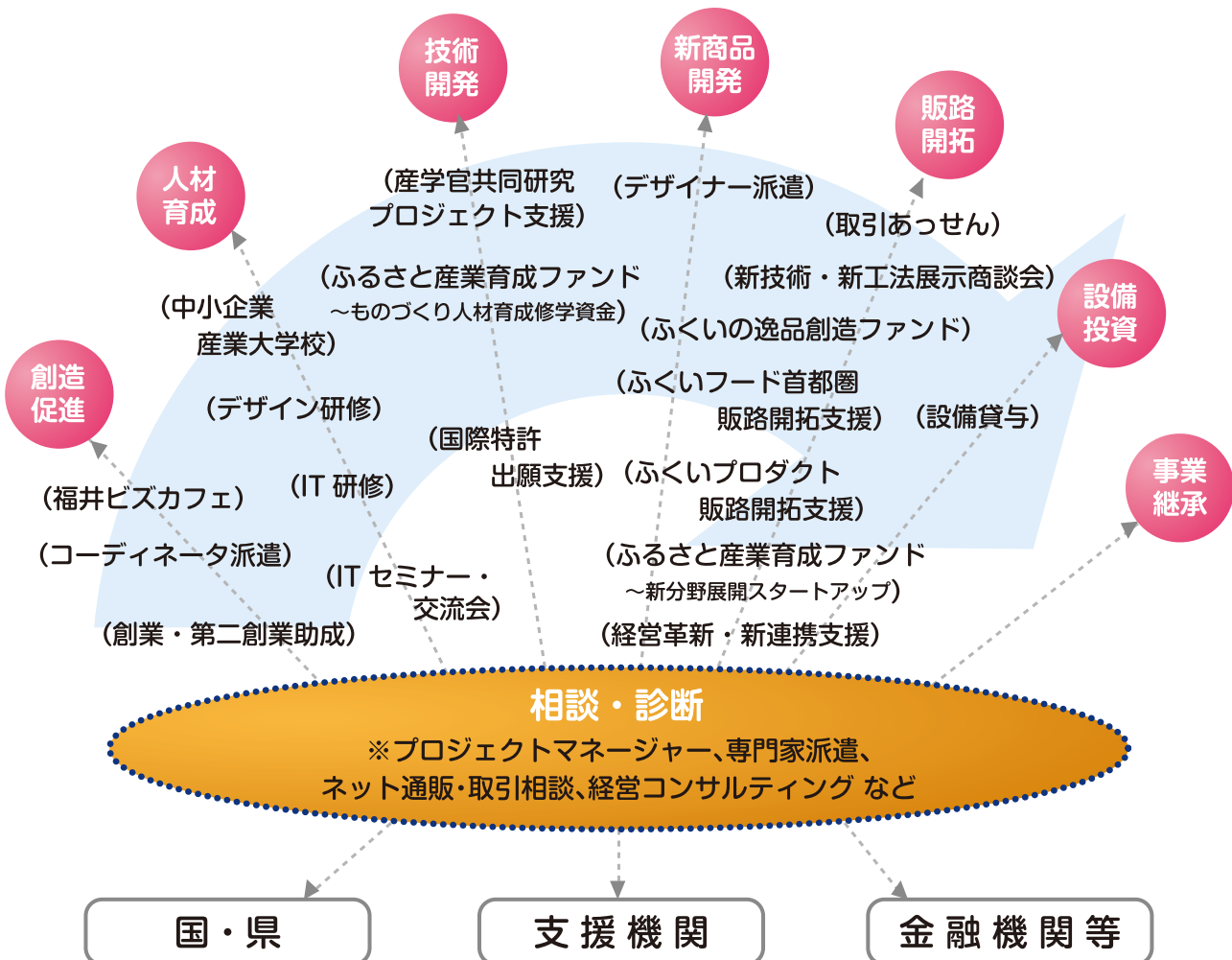
- ◆本県の中核的支援機関として、他の支援機関等と連携しながら、企業の経営課題に対応した支援を行います。

商工会議所・商工会、中小企業団体中央会、福井県工業技術センターほか、県内金融機関、各種業界などと連携しながら事業を行っています。

- ◆県内で事業を営まれる方を対象に、地域や会員等の区別なく支援します。

- ◆福井県の産業施策と歩調を合わせつつ、創業、人材育成、技術開発、商品開発、販路開拓など総合的にサポートします。

〈主な支援事業の全体像(2013)〉



目次

contents

事例 1	久保田酒造合資会社	● 企業診断・コンサルティング	1
事例 2	有限会社あまから	● 経営革新計画承認支援	2
事例 3	堀川製茶有限会社	● ふくいの逸品創造ファンド	3
事例 4	株式会社室次	● ふくいの逸品創造ファンド	4
事例 5	株式会社ウタ	● ふくいの逸品創造ファンド	4
事例 6	株式会社東協	● 新分野展開スタートアップ支援	5
事例 7	有限会社木工房蔵	● 新分野展開スタートアップ支援	6
事例 8	株式会社ドラフト	● 新分野展開スタートアップ支援	6
事例 9	URUNJA	● 福井ビズカフェ	7
事例 10	山井編織興業株式会社	● 設備貸与制度	8
事例 11	青木蘭麿堂	● デザイナー派遣（デザイン支援）	9
事例 12	大日本市ふくいグループ	● グループカウンセリング（デザイン支援）	10
事例 13	株式会社NCC	● 新技術・新工法展示商談会	11
事例 14	カメマンネン株式会社	● 国際特許出願支援	12
事例 15	旭日繊維株式会社	● オーダーメイド研修	13
事例 16	ゲンキー株式会社	● 福井県中小企業産業大学校 施設	14
事例 17	株式会社カガセイフン	● IT研修	15
事例 18	株式会社グルーバ	● 福井県産業情報センター 入居施設	16

事業の紹介

● 企業診断・コンサルティング	● 経営革新計画承認支援	17
● ふくいの逸品創造ファンド		18
● 新分野展開スタートアップ支援		19
● 福井ビズカフェ	● 設備貸与制度	20
● デザイナー派遣（デザイン支援）	● グループカウンセリング（デザイン支援）	21
● 新技術・新工法展示商談会	● 国際特許出願支援	22
● オーダーメイド研修	● 福井県中小企業産業大学校 施設	23
● IT研修	● 福井県産業情報センター 入居施設	24

ビジョンづくりとプラン作成からアクションまでをサポート

久保田酒造合資会社

代表者名：久保田 直邦
業 種：清酒製造業
所在地：坂井市
事業内容：清酒・リキュール等の製造販売

▶事業を活用した経緯等

消費者の清酒離れ、ディスカウントストア等の台頭による町の酒販店の衰退など、清酒業界を取り巻く環境は変化し、多くの酒造業者は右肩下がりの経営を余儀なくされている。同社は、このような中で、差別化を図るために、100%福井県産米使用、うち6割を自ら所有する田で生産した自社産米とするなど、地産地消と地元重視の姿勢を打ち出してきた。また、酒蔵が山のふもとの田園地帯に位置することを強みに、お客様に直接酒蔵に来て購入してもらいたいとの思いを抱いていた。

そこで、同社の強みを活かして直販を強化するためのビジョンづくりから実際のアクションまでのサポートを求めて、「企業診断・コンサルティング」を活用することとなった。



▶活用内容

当センターの中小企業診断士の指導のもと、社長、社氏以下の役員・社員によるディスカッションを繰り返し、同社の強みや弱みを分析、お客様に蔵に集まってもらうビジョンとそれを実現するための課題を明確にした。

「歴史」「地域性」「蔵の環境」「漫画 蔵の宿」など同社の強みを活かして集客を図るために、「酒造り」「PR」「蔵と売店の整備」などのテーマごとにアクションプランをまとめた。現在、同社の魅力を伝えるチラシの作成、工場見学コースを含めた酒蔵内の表示の見直し、酒タンクを活用した案内看板の作成、温泉旅館等とタイアップしたツアー企画などを進めている。



利用された企業からの声

代表社員 久保田 直邦 氏

和やかな雑談の中で問題点が明確になっていくようにディスカッションをリードしていただき、課題設定やアクションプランの作成を大変スムーズに進めることができました。実行段階でも支援センター診断士と一緒に考えていただき、少しずつ形になってきています。

食の総合企画提案企業を目指す 経営革新計画づくりをサポート

有限会社あまから

代表者名：野坂 昌之

業 種：飲食業

所在地：福井市

事業内容：本店リニューアルにあわせ、飲食店から食の企画・総合提供業へ業態転換

▶事業を活用した経緯等

同社は、昭和5年創業で三代続く老舗の洋食レストランである。昔ながらの洋食屋のイメージを大切に守りながら、肉など食材へのこだわりを追究しているほか、オリジナルドレッシングの開発やテイクアウトへの取り組みなど、顧客からの要望にも前向きに応じてきた。

しかし、人口減少や中食需要の増加などに伴い、経営環境は大きな変化を見せており、従来のように来店客を待つだけの姿勢では今後の経営発展に限界があるとの危機感を抱いていた。

そこで、レストラン事業以外の分野で積極的に事業展開を行い、最終的には「食」の総合的な企画提案企業への業態転換を図るべく、経営革新計画の策定に取り組むこととなった。

▶活用内容

同社は、平成24年度に、平成19年度に続く2回目の経営革新計画の申請を行った。当センターは、下記の新たな事業活動についての計画づくりをサポートした。

現在、同社のシンボルである本店のリニューアルにあわせ、新たな分野での商品開発や、少人数スタッフでも伝統の味を再現できる体制づくりなどに積極的に取り組んでいる。

(主な新たな活動内容)

- ・新商品（駅弁や空弁）の開発、販売
- ・ドレッシング工房やお持ち帰り工房の併設
- ・真空調理機導入によるセントラルキッチン化
- ・本店をより近代的にリニューアル
- ・テイクアウト専門店の新設 など



利用された企業からの声

代表取締役 野坂 昌之 氏

今後100年企業を目指していくためには、時代の変化にあわせて業態のあり方も変える必要があると思っています。経営革新計画の承認は2回目で、金融機関からの信用が高まり、比較的低い金利で借り入れできるなどのメリットがありました。今後、レストラン「グリルあまから」の伝統を大切にしつつ、他社の発想にはない分野に挑戦することで更なる発展を目指していきます。

「越前豆茶」「コシヒカリ玄米茶」を活かしたアイスクリームの開発と販路開拓を支援

堀川製茶有限会社

代表者名：堀川 與三右工門
業種：製茶加工販売・喫茶業
所在地：あわら市
事業内容：製茶、茶・茶器・茶道具販売および日本茶喫茶の経営

▶事業を活用した経緯等

同社は、明治16年の創業以来、「あわら」の地でこそ作れるお茶と、先祖代々受け継がれてきた独自の製茶焙煎技術によって製茶加工販売を行ってきた。

しかし昨今は、ペットボトル商品の流行などにより、お茶のリーフ販売の売上が減少傾向にあり、今の時代に合う新しい価値を付加した商品の必要性を感じていた。

そんな中、同社の店舗「茶楽かぐや」にて自家挽き抹茶や茎ほうじ茶を使用したアイスクリームを提供したところ、「お茶の香りがとてもいい、このような香り高いお茶を使用したアイスクリームを家に持ち帰りたい」との感想が多く寄せられた。

そこで、同社の焙煎技術を活かした地域特有の「越前豆茶」と、福井県産コシヒカリの玄米を使った「玄米茶」を材料に、香りに特長があるアイスクリームを開発。同時に、販路開拓にも取り組むことにした。

▶活用内容

専門家のアドバイスやアイスクリームの試作、パッケージ開発、展示会出展などの販路開拓について支援を受けるため、「ふくいの逸品創造ファンド助成金」の採択を受けた。

その結果、味や香りが良い「越前豆茶」や「コシヒカリ玄米茶」のアイスクリームを商品化することができ、デザイナーを活用したことで満足できるパッケージも作成することができた。

今後は、通信販売も充実するほか、量産体制も構築して、福井ならではの「越前豆茶」「コシヒカリ玄米茶」をアイスクリームという形で全国に広めていきたいと考えている。



利用された企業からの声

専務取締役 堀川 與一郎 氏

今回の事業は、当社にとってハードルの高い事業に思いましたが、事業計画の作成から商品開発、販売開拓まで親身に相談に対応され、適確なアドバイスもいただきました。おかげさまで安心して事業に取り組むことができ、助成金を活用してふくいの新しいオリジナル商品の誕生を実現させました。

「本物」「健康」需要に応える 減塩醤油の販路開拓を支援

株式会社室次

代表者名：白崎 裕嗣
業種：醤油醸造業
所在地：福井市
事業内容：醤油の製造・販売



▶事業を活用した経緯等

醤油の生産量が年々減少する一方で、健康を重視し天然の醤油を求める本物志向・健康志向のユーザーが増えつつある。このようなお客様を惹きつける商品開発の必要性が高まる中、同社は福井県立大学と共同で低臭・無塩の魚醤を開発。この魚醤と同社の天然醤油を組み合わせ、全く新しい減塩でかつ高アミノ酸の美味しい醤油を商品化した。そこで、この新商品の販路開拓に取り組むことにした。

▶活用内容

展示会等への出展や商品紹介ホームページの作成など、販路開拓のための支援を得るため「ふくいの逸品創造ファンド助成金」に応募し、採択を受けた。これにより、販路獲得につながっただけでなく、減塩醤油を使った加工食品の開発を希望する企業と知り合うこともでき、現在商品を開発中である。

今後は、更なる販路開拓に取り組むほか、インターネット販売にも注力していきたいと考えている。

昆布と地酒を活用した新しい リキュールの開発と販路開拓を支援

株式会社ウタ

代表者名：打它 将
業種：酒・食品小売業
所在地：敦賀市
事業内容：全酒類・総合食品の小売および卸売（特定品目）



▶事業を活用した経緯等

人口減少や若者の飲酒離れによる飲酒人口の減少や、チェーン店などの販売店を中心とした価格訴求型商品の台頭で、新しい酒文化・食文化の創造、お酒の文化性をさらに提唱できる新商品が必要となってきた。そこで、地元敦賀で昔から加工が盛んな「昆布」と地元の日本酒を使ったリキュールを開発し、販路開拓を行うことにした。

▶活用内容

今回の事業は、同社オリジナル商品の開発と販路開拓という初めての試みであるため、専門家のアドバイスや商品試作、さらには展示会出展などの販路開拓について支援を得るため、「ふくいの逸品創造ファンド助成金」の採択を受けた。これにより、商品試作やパッケージ開発を行い、昆布リキュール「澁曳（みおひき）」を完成することができた。

今後は、展示会出展など、開発商品の販路開拓に取り組む予定である。

得意技術を活かした 新分野への挑戦をサポート

株式会社東協

代表者名：川端 俊憲
業種：土工・コンクリート工事業、中古自動車小売業
所在地：大野市
事業内容：「建機・圧送ステーション」開設

▶事業を活用した経緯等

同社は、コンクリート圧送（高所・長距離圧送）を主とした専門工事業である。

平成20年からは経営革新計画承認事業である「即稼働中古コンクリートポンプ車web販売」として、100%自社運営のWEBサイトを立上げるなど業界唯一ともいえる取組を続けてきた。

創業から30年経過し消費者価値や市場の変化を体感できた今、保有実績・技術・ノウハウを生かし新たな顧客ニーズに対応したいと考えた。

そこで、オペレーションのノウハウを含めた希少コンクリートポンプ車のレンタル、自社の整備技術とWEBを活用した即稼働可能な中古建機販売、圧送技術と設備の展示からコンサルティング、これらをワンストップで叶える新事業を開始することとし、「新分野展開スタートアップ支援助成金」を活用した。



▶活用内容

本事業が「新分野展開スタートアップ支援助成金」に採択され、ステーション整備、コンサル&展示スペース設置等を実施。問合せ・成約も増加し、全国の顧客が来訪している。

今後はさらに現場ニーズを反映し、品質を重視した商品ラインアップの充実や、きめ細かい対応を心がけ、高信頼度・高品質を求める全国の圧送業やゼネコン・建設土木業、さらには、異業種にまで幅広く提供していきたいと考えている。



利用された企業からの声

取締役営業部長 川端 隆志 氏

厳しい状況に立たされる建設土木業者にとって、新事業への挑戦は容易ではありませんが、環境分析・リサーチ・自社の強みを追求することで、道が広がることを身を持って体験しました。新たなステージにおいて、より特化したプロフェッショナル集団として顧客満足度向上・地域貢献に努めてまいります。

ブライダル用木工製品の新店舗展開を支援

有限会社木工房蔵

代表者名：竹内 良介
業種：木製家具製造業
所在地：越前市
事業内容：手作り「三連時計」販売における新店舗展開事業



▶事業を活用した経緯等

婚礼家具、注文家具の製作を中心に手掛ける同社は、他社にはない「独自のスタイルでの手作り家具」でオンリーワン企業を目指す中、顧客の要望により「三連時計」の製作をスタート。結婚式での両親への贈り物として高い反響を呼ぶようになり、新たな市場への挑戦として、東京で新店舗をオープンすることとなった。

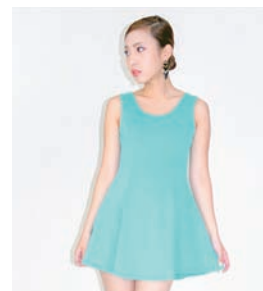
▶活用内容

「新分野展開スタートアップ支援助成金」を利用し、結婚情報雑誌「ゼクシィ」に広告を掲載。越前市の同社まで訪れる首都圏のカップルも増えた。また、東京銀座に手作り教室をオープンし、盛況となっている。今後も、大阪、名古屋等の都市圏に教室をオープンするなど、各地に展開する計画。

レディースアパレルの自社ブランド立上げを支援

株式会社ドラフト

代表者名：伊藤 佑樹
業種：織物・衣服・身の回り品の卸売・小売
所在地：あわら市
事業内容：レディースアパレル販売サイトの立上げ・福井発オリジナルブランドの立上げ



▶事業を活用した経緯等

同社はメンズファッションの製造を行っており、自社工場を中国に設けて自社ブランドを展開しているほか、ネット通販も手掛けている。このような技術力や通販サイト運営ノウハウ、生産力を活かす新規事業を模索した結果、流行の激しいレディース分野で、流行に捉われない自社商品を提案することを決断。レディースアパレル販売サイトの立上げと、福井発オリジナルブランドの立ち上げを行うこととなった。

▶活用内容

「新分野展開スタートアップ支援助成金」を下記のとおり活用し、自社ブランドの認知度向上、売上増に結びつけている。

- ・女性店長採用によるオリジナルブランド開発、商品提案への反映
- ・販売につながるネット開発（販売サイト開発、検索エンジン対策）
- ・ファッション誌への広告展開
- ・ネット広告展開

経営知識の習得と ネットワークづくりをサポート

URUNJA

代表者名：西村 拓朗
業種：情報サービス業
所在地：坂井市
事業内容：ネットショップ立上げ、運営支援

▶事業を活用した経緯等

同社は、靴のネット販売を営む株式会社ザカモアの西村社長が、平成24年9月に新たに立ち上げた会社である。これまで培ってきたショッピングサイトの運営ノウハウを活かし、現在、楽天などのショッピングモールを活用して販路拡大を目指している企業に対し、サイト制作から集客のアドバイスまでを一貫して支援。売上に対して一定の割合で報酬を得る、いわゆる「成果報酬型」のビジネスモデルを採用している。

今後、事業を展開していく中で、経営に関する知識を深めるとともに、人脈を拓げる必要があると認識しており、「福井ビズカフェ」のビジネスモデル部会に参加した。

▶活用内容

西村代表は、「福井ビズカフェ」に参加して講師や参加者と積極的に交流し、経営などの知識やノウハウを習得。それを、自社でも実践している。また、他の経営者勉強会に参加するなど、同事業をきっかけに新しいつながりを生み出しており、積極的な姿勢で成長を遂げようと努めているところである。



福井ビズカフェ



URUNJAのサイト



利用された企業からの声

代表 西村 拓朗 氏

「福井ビズカフェ」では、県内で成功した創業者のセミナーが聞けると同時に、熱い思いをもった創業者と交流が持てるまたとない場です。これからも知識習得と人脈形成のために、積極的に活用して行きたいと考えています。

有利な条件の設備貸与を利用し 最新鋭の編機を導入

山井編織興業株式会社

代表者名：山崎 則義
業 種：経編ニット生地製造業
所在地：大野市
事業内容：紳士服・婦人服裏地、防水機能生布、産業資材用生地の経編加工

▶事業を活用した経緯等

同社は、加工賃収入のアップを図るために、高付加価値商品の開発と編機広幅化および高速化が必要であると判断し、従来から保有している編機を計画的に最新鋭の編機に入れ替えることとした。

導入のための資金調達計画を立てる際には、最新鋭の編機は機械価格が高額となることから、慎重に検討を行った。

その結果、当センターが実施している小規模企業者向けの設備貸与事業があることを知り、手ごろな金利負担で、金融機関の借入枠や保証枠にとらわれずに設備投資ができることから、この制度を利用することとなった。



▶活用内容

設備貸与制度を利用して、従来から保有している編機2台を廃棄し、最新鋭の編機1台を導入した。

これにより、これまでできなかった厚地の商品の開発、柄物商品の開発が可能となり、商品構成のバリエーションが大幅に増え、取引先の要望に応えることができるようになった。

今後も順次設備の更新を進め、定番品から高付加価値商品へのシフトにより、加工賃収入の増加につなげていきたいと期待を寄せている。



利用された企業からの声

代表取締役 山崎 則義 氏

当社では、設備貸与制度を利用して、最新鋭の編機に入れ替えることにより、生産性の向上及び品質の向上を計ることができました。今後もこの制度を利用して設備の更新を進めていきたいと思っています。

デザイナー派遣事業により ブランディング強化をサポート

青木蘭麿堂

代表者名： 青木 房子
業 種： 酒造業
所在地： 福井市
事業内容： 蘭麿酒の製造販売

▶事業を活用した経緯等

同社は福井県屈指の老舗企業であり、400年あまり続く文化的に価値の高い逸品「蘭麿酒」を製造している。もともと蘭麿酒は、一乗谷に居城を構えた戦国武将、朝倉氏一門の健康維持と氏族繁栄を祈って造られた秘蔵の健康酒だが、近年の健康食品の多様化により滋養酒の需要は低下傾向にあり、蘭麿酒の持つブランド価値を再発見し、需要を喚起する必要がある。そこで、専門家の指導を受けるためにデザイナー派遣事業を利用することとなった。

▶活用内容

販売促進ツールの一つであるパンフレットを制作するにあたり、限られた紙面の中で適切な情報設計を行うことは、あまり経験がない同社にとって苦勞を伴う作業だった。そこで、パンフレットのイメージ設定、ロゴマークの整理とデジタル化、写真のトーンの調整方法、効果的なレイアウト方法など、視覚イメージの構築に関してデザイナーが指導した。また、商品の品質を訴求する上で必要なキャッチコピーやリードコピーのライティングについても習得することができた。



利用された企業からの声

当社が400年かけて培ってきたブランド価値を新たに視覚イメージとして再構築する作業は、専門家の支援なしにはできなかったと思います。長い歴史を持つ蘭麿酒には、時代ごとに多くのロゴマークも存在し、これらの取捨選択にはデザインに関する造詣が必要でした。本事業の活用にあたってご尽力いただいた方に、感謝しています。

都内百貨店ででの出展を機に デザイン戦略と販路開拓を支援

大日本市ふくいグループ

代表者名： 瀧 英晃
業 種： 製紙、繊維、眼鏡材料
所在地： 越前市、あわら市、鯖江市
事業内容： 日本×歴史×品質×ブランドをかねそなえた伝統工芸メーカーによる雑貨ファッション、インテリアなどの展示会「大日本市」に出展する県内の企業グループ

▶事業を活用した経緯等

越前和紙製造の(株)滝製紙所は、自社内で漉く襖紙の裁断により生じる“耳”を活用して新製品の「和紙の耳時計」を製作し、2012年の「国際・ギフトショー」に出展。新たな販路を切り開こうとしていた。また、(株)クナプラスは、ポリ乳酸繊維を使って先進的なデザイン商品を開発し、フランスの「メゾン・エ・オブジェ」に継続的に出展し成果を上げてきた。さらに、(株)キッソオは、眼鏡素材のアセテートとチタンを使った雑貨の開発に取り組み、ギフトショーで発表するなどデザイン開発を積極的に進め、実績を残してきた。

3社ともに、日本の雑貨ファッション市場において、自社製品を生活シーンで利用する定番・ロングライフ商品に成長させたいと考えていたところ、福井県の優れたデザイン商品を集めた新宿伊勢丹大日本市「越前市」において、3社の商品が選定され出展販売するチャンスを得た。そこで、ブランド価値の再発見と需要喚起を図るため、グループカウンセリング事業で専門家の指導を受けることとなった。

▶活用内容

3社が各々の企業活動において課題となっている案件を持ち寄り、生活者のライフスタイルの多様化に着目した新商品開発へのデザイン課題や、ブランディングの立て方とマーケット戦略の方向性について指導を受けた。また、新宿伊勢丹百貨店商品の大日本市の「越前市」出展の現場では、販路開拓に向けたデザイン上の課題や、ユーザー分析、マーケット戦略の方向性などについて指導を受けた。



利用された企業からの声

ブランディングに欠かせない、会社経営とモノづくりのバランスについて様々な観点から見直すことができました。また、「越前市」に選定いただいた商品に対する、ユーザー評価を把握することができました。特に、新宿伊勢丹という富裕層かつ50～60代女性の顧客層に向けたユーザー反応を把握でき、ブランド力強化の手がかりになる情報を得ることができました。お客様の生の声が聞けましたので今後の開発に活かしていきたいと思えます。

自社製品・技術をPRする場で 新分野での販路開拓をサポート

株式会社NCC

代表者名： 下内 孝博
業 種： 金属製品製造業
所 在 地： 鯖江市
事 業 内 容： 金属・樹脂・セラミックス等へのイオンプレーティング処理

▶事業を活用した経緯等

同社は、メガネフレーム（金属）の加飾技術の一つであるイオンプレーティング（真空乾式メッキ）を発展させ、樹脂やセラミックスへ応用できる技術を確立しており、現在、釣具やゴルフ用品、水栓金具、医療機器などに活用されている。

さらなる販路拡大を求め、この技術を新しい分野へ応用ができないか模索していたところ、車輛の軽量化のために金属部品から樹脂部品への転換が進められている自動車に着目。多くの自動車部品に技術が活かせる可能性を見出した。

そこで、自社製品・技術のPRと市場ニーズをつかむことを目的に、「ふくい新技術・新工法展示商談会」に参加した。



▶活用内容

同社は、平成23年度にマツダ（広島県）、平成24年度にホンダ（栃木県）の展示商談会に参加した。当センターは、出展企業の技術を自動車メーカーへアピールするガイドブックや展示パネル、ブースに展示するサンプル品などを用いた効果的なPR方法について助言し、出展に向けた準備を後押しした。

その結果、両展示商談会で試作・サンプルの依頼を獲得。さらにホンダでは、会期後にプレゼンテーションを依頼され、複数回の企業訪問を実施した。



利用された企業からの声

代表取締役 下内 孝博 氏

出展した商談会では予想をはるかに超える大勢の方にブースへお立ち寄りいただき、多くの技術相談を承りました。

一般展示会とは一味違った商談会に大きな手ごたえを感じました。今後に大いなる期待を抱いております。

特許出願費用の助成で 海外取引を支援

カメマンネン株式会社

代表者名：若林 茂
業 種：眼鏡枠の企画・販売
所在地：鯖江市
事業内容：眼鏡枠の企画・販売

▶事業を活用した経緯等

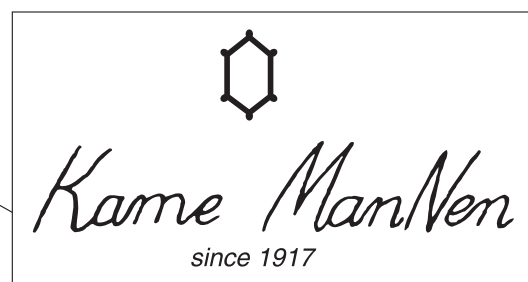
約6年前に創業した同社は、流行に左右されないクラシカルで気品あるデザインを志向した眼鏡「カメマンネン」の企画販売を行っている。

国内のほか、欧米、アジア等でも同社製品を販売しているが、最近では特にアメリカでの販売数が増加しており、アメリカ市場での事業拡大を計画することとなった。その中で、自社ブランドの保護が必要不可欠であると判断し、商標出願を検討。弁理士を通じて知った「国際特許出願支援事業」を活用することとなった。

▶活用内容

「国際特許出願支援事業」により、アメリカへの商標登録出願に要する経費の一部を助成。資金面でのサポートを行うことで、拡販体制を整えることができた。

商標出願が完了した今、現地代理店を通じた新たな顧客開拓を計画中であり、今後の売上増を期待している。



利用された企業からの声

国際特許出願支援事業により、資金負担が課題で躊躇していたアメリカへの商標出願を実現することができました。当社ブランド「カメマンネン」は、商標出願したアメリカでも大変高い評価を受けています。世界ブランドとして認知度を高めるには、どの国でも商標登録は必要ですので、今後も商標出願を行いながら、グローバル展開を進めていきたいと考えています。

個別企業の課題・ニーズに合わせたオーダーメイド研修の企画・運営による人材育成支援

旭日繊維株式会社

代表者名： 中島 靖
業 種： 化繊織物の製造
所在地： 越前市
事業内容： キュブラ繊維の製造

▶事業を活用した経緯等

同社は従業員の約4分の1が60歳以上のベテラン社員で、中堅層が薄い従業員構成である。今後、ベテラン社員の退職が進む中で、いかに技術承継をスムーズに進め、技術レベルを維持するかが課題となっている。経営幹部が中心となり今後の方向性を検討する中で、計画的な人材育成が最重要課題として挙げられ、従業員側からも中堅クラスの教育訓練の要望が高まっていた。

そこで中小企業産業大学校に研修内容について相談し、事業活用することとなった。

▶活用内容

当センターと同社の間で課題やニーズを共有し、研修対象や内容、成果イメージを決めるなど、研修の企画・運営をサポートした。具体的には、オーダーメイドで企画した研修を計画的な人材育成のキックオフ的な位置づけとし、中堅社員を対象としたリーダーシップとコミュニケーション能力の養成を主眼に、講師を選定。講師を交えて同社の実情に合ったプログラム内容を一緒に検討した。また、研修後には、講師の所感、研修の状況や受講者の理解度、アンケート結果などをまとめた報告とともに、今後の人材育成の進め方に関してアドバイスした。



▶受講者の声

- ・リーダーとしての使命感やモチベーションを更に高めるために、今回の学習による決意や行動目標を1年間継続して習慣化させたい。
- ・自分自身の成長やリーダーとしての積極性が部下の主体性を引き出し、全社的に変化をもたらすことができるよう努めていきたい。



利用された企業からの声

代表取締役社長 中島 靖 氏

製造現場で中堅管理職は大変大きな役割を担っています。その期待の反面、育成という視点がやや欠けていたことは否めません。管理職はOJTだけではなかなか育ちません。この研修で知識とスキルが体系的に学べ、グループワークで同僚の悩みも共有でき、各自が決意を新たにしてくれたことは、個人だけでなく当社にとっても大きな成果だったと思います。

「新入社員の宿泊研修」から「営業戦略を練る会議室」の利用まで“使い勝手のよい”研修の場の提供

ゲンキー株式会社

代表者名： 藤永 賢一
業 種： 小売業
所 在 地： 坂井市
事 業 内 容： メガドラッグストアの展開

▶事業を活用した経緯等

同社では、社員の育成に関して、各種スペシャリストとしての生涯教育を念頭に置いた、長期的かつ体系的な教育システムの構築に積極的に取り組んでいる。

特に新入社員に対しては、実地での店舗教育、同社事業に関する知識や社会人としての基礎知識を習得する教育を同時に行うプログラムを実施している。

このような中で、社員同士の交流も含めた研修会場として最適な環境を探していたところ、宿泊型の研修施設を提供している中小企業産業大学校を知ったことが、事業活用（施設活用）のきっかけとなった。

▶活用内容

同社は、平成18年から継続して、中小企業大学校の中教室と20室程度の宿泊ツインルームを利用し、参加人数30名～40名、約20日間の研修プログラムを実施している。

教室は午前8時から午後10時まで利用が可能のため、店舗での実地研修の前後でも柔軟に時間選択ができ、机・椅子はもちろんのことホワイトボードやスクリーン等の設備も充実しており、準備の手間がかからず、集中して研修に取り組むことができている。

宿泊室を利用することで社員同士のコミュニケーションが増え、仲間意識の醸成が図れたほか、リーダーシップの育成にも役立っている。



利用された企業からの声

執行役員管理本部長 兼 ゲンキー大学事務局長 **上田 匡英 氏**

支援センター職員の方々の方々の施設利用者へのフォローが大変助かっています。創業の地であり活動の地である福井の風土を全新入社員に感じてもらえるとともに、県内で多数展開している店舗を使った“OJT”と、職場を離れた“Off-JT”の切り替えの点でも利便性が良く、学ぶ環境はベストです。

IT研修受講を機に業界を代表する ネットショップに成長

株式会社カガセイフン

代表者名： 加賀 龍夫
業種： 食品製造業
所在地： 福井市
事業内容： 福井県産そば粉を中心とした石臼挽きそば粉の製造・販売

▶事業を活用した経緯等

福井県産の玄そばを使用した石臼挽きのそば粉を製造販売している同社は、平成16年に販路を県外に広げるためネットショップの運営を開始。しかし、ネットショップ運営の基本的な知識や売り上げを伸ばすための具体的なノウハウを持っていなかったことから、当センターのIT研修事業に参加した。

▶活用内容

同社の後継者である加賀健太郎氏（6代目 常務取締役）が、ネットショップ運営の基本的な知識を習得する研修（現「ふくいeビジネス道場【基本コース】」）に参加。課題を実践することで、売上の増加に大きく貢献している。また、その後は、ホームページ制作研修やブログマーケティング道場など各種講座も継続的に利用し、最近では、会社全体でネットショップ運営に取り組むため、経営者である両親や妻も積極的に研修に参加。業界を代表するネットショップに成長し、ネット売上が同社の事業の柱となっている。



(株)カガセイフンのホームページ

利用された企業からの声



常務取締役 加賀 健太郎 氏

支援センターのIT研修なくして当社のネットショップの今はありません。研修で出会ったネットショップ仲間、一流の講師陣との交流も大変刺激になっています。この業界は変化が激しく、競争も厳しいのが現実です。これからもIT研修を積極的に利用し、大きく成長していきたいと思っています。

福井の開発拠点として県産業情報センターに入居し新市場開拓を目指す

株式会社グルーバ

代表者名： 木村 幸夫
 業 種： 情報サービス業
 所在地： 坂井市（本社：東京都）
 事業内容： 映像関係のアプリケーション開発

▶事業を活用した経緯等

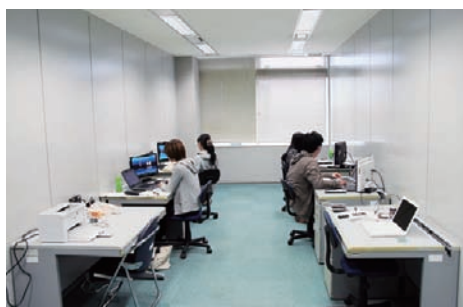
同社は、映像関連のシステムを中心に開発を行っていた木村社長が、平成21年東京都港区で起こした企業である。地元活性化に一翼を担いたいとの思いを募らせていた木村社長は、出身地である福井での業務展開を行うことを決め、開発拠点を探していた。

そうした中で、開発の環境に適している福井県産業情報センターの技術開発室を知ることとなり、平成25年3月に同室に入居。テストセンターを開設するに至った。

▶活用内容

同社では、小型のセットトップボックス（STB =同社製品名「Smart Stick toto」とその関連システムを開発、企業向けのカスタマイズ販売に力を入れており、平成25年2月に、ソフトバンクが提供する「SmartTV」に採用されるなど、大きな手応えを感じている。今後はソフトバンク以外の企業・サービスにも売り込みを図っていく予定である。

技術開発室に開設したオフィスは、当面、同製品をベースにカスタマイズ開発したシステムのテスト業務を中心に行うこととしているが、将来的には県内企業と共同でシステム開発が行える開発拠点到に成長させたいと考えている。



技術開発室



利用された企業からの声

代表取締役社長 木村 幸夫 氏

東京では優秀な技術者を確保するのが難しくなっています。福井は優秀な技術者が多く、自分も地元の活性化に一役買いたいとの気持ちもあります。是非、今回の入居を足がかりに福井の開発拠点の地歩を固めていきたいと思っています。

事例企業が活用した事業のご紹介

本誌で紹介している企業が活用した事業について、概要を紹介します。

事業の詳細については、当センターのHPでご確認いただくか、
各担当部署にお気軽にお問合せください。

▶ 企業診断・コンサルティング

従業員意識調査などによる「簡易診断」、全社的な現状分析・課題の抽出・改善策の提案を行う「企業診断」、課題克服や改善策の実行をサポートする「コンサルティング」を行います。

企業診断

- ◆ 現状分析
外部・内部環境分析、SWOT分析
- ◆ 課題の整理・抽出
事業・組織・財務・教育など
- ◆ 戦略案の策定・課題解決策の提案

コンサルティング

- ◆ 課題解決策の実施をサポート
- ◆ 解決に向けて、専門家や各種制度を紹介・活用

！ 活用ポイント

- ◆ 第三者の複数の視点により課題が整理されます。
- ◆ 目指すべきビジョンを明確に描くことができます。
- ◆ 個々の状況に応じた、多岐にわたるオーダーメイドの支援を受けることができます。
- ◆ 問題解決に向けて、継続的なフォローを受けることが可能です。

※企業診断には、専門家派遣事業に準じた自己負担をお願いしています。

お問い合わせ先

ふるさと産業支援部 経営革新・コンサルグループ

TEL 0776-67-7424 FAX 0776-67-7429

▶ 経営革新計画承認支援

福井県の経営革新計画の承認のために、計画書の作成支援を行っています。

経営革新とは？ ※「中小企業新事業活動促進法」より

経営環境の変化に対応し将来にわたって企業を発展・成長させていくため、「事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ること」です。

新事業活動とは？

4つの新たな取り組みのことをいいます。

- ① 新商品の開発または生産
- ② 新役務の開発または提供
- ③ 商品の新たな生産又は販売の方式の導入
- ④ 役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動

経営の相当程度の向上とは？

次の2つの指標が計画期間である3～5年で一定以上向上することをいいます。

計画終了時	「付加価値額」または「1人あたりの付加価値額の伸び率」	「経常利益」の伸び率
3年計画の場合	9%以上	3%以上
4年計画の場合	12%以上	4%以上
5年計画の場合	15%以上	5%以上

経営革新の承認を受けると、計画期間中、次のような支援策を受けることができます。
(ただし、支援策ごとに、実施機関の審査が別途必要となります。)

- ◆ 信用保証の特例 ①普通保証等の別枠設定 ②新事業開拓保証の限度額引き上げ
- ◆ 特許関係料金減免制度 ◆ 県の制度融資や政府系金融機関による低利融資制度 ◆ その他

お問い合わせ先

ふるさと産業支援部 経営革新・コンサルグループ

TEL 0776-67-7424 FAX 0776-67-7429

▶ ふくいの逸品創造ファンド

県内の企業等が取り組む地域資源を活用した商品開発や販路開拓事業について、その費用の一部を助成します。

地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援

対象 福井県内に主たる事業所がある中小企業・個人事業者・農業協同組合・LLP等

対象事業 「福井の強み」を活用した、新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取り組み

※平成25年度に福井県が認定する「福井の手しごと」を活用して行う取り組みを新たに対象としました。

！ 活用ポイント

事業実施期間は原則12ヶ月以内ですが、特に必要性が認められる場合には24ヶ月以内で設定することができます。(繊維連携は最長12ヶ月以内)

助成率および助成限度額

市場調査・商品開発・販路開拓にかかる費用
◆助成率: 1/2以内 ◆助成限度額: 500万円

販路開拓にかかる費用のみ
◆助成率: 1/2以内 ◆助成限度額: 200万円

※「ふくいの手仕事」に関する助成率は2/3以内、助成限度額は300万円

地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援(小規模企業連携)

対象 福井県内に主たる事業所がある小規模事業者の2社以上の連携体

対象事業 2社以上の小規模事業者が各々の経営資源を活用して「福井の強み」を活用した、新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取り組み

助成率および助成限度額

市場調査・商品開発・販路開拓にかかる費用
◆助成率: 2/3以内 ◆助成限度額: 300万円

産業支援機関によるチャレンジ企業創出支援

対象 福井県内に主たる事業所がある商工会議所、商工会、福井県商工会連合会、福井県中小企業団体中央会

対象事業 2社以上の小規模事業者が各々の経営資源を活用して「福井の強み」を活用した、新商品・新サービスの開発や販路開拓にかかる事業計画の策定に向けた取り組み

助成率および助成限度額

事業計画策定のための調査・研究にかかる費用
◆助成率: 2/3以内 ◆助成限度額: 100万円

農商工連携による新事業創出支援

対象 福井県内に主たる事業所がある中小企業・個人事業者・農業協同組合・LLP等 (商工業者と農林水産業者の2者以上の連携)

対象事業 商工業者と農林水産業者が、それぞれの経営資源・ノウハウを活かして行う取り組み

助成率および助成限度額

市場調査・商品開発・販路開拓にかかる費用
◆助成率: 2/3以内 ◆助成限度額: 600万円

◆本県の農林水産物を活用した新商品・新サービスの開発・販路開拓への取り組み、もしくは県の農林水産物の新たな販売方法等による販路開拓への取り組み

企業同士の「連携」による福井産地の再活性化

◆企業連携による繊維産地競争力強化モデル事業
県内の繊維関連企業がそれぞれの強みを活かして連携し、売れる商品開発と販売力の強化を図るモデル的な取り組みを応援します。

助成率および助成限度額

市場調査・商品開発・販路開拓にかかる費用
◆助成率: 2/3以内 ◆助成限度額: 600万円

◆小売店との連携による福井ブランドめがね販売モデル事業
県内の眼鏡関連企業が、全国的眼鏡小売店等(眼鏡卸企業を含む)と連携して行う新商品の開発等に係るモデル的取り組みを応援します。

お問い合わせ先

ふるさと産業支援部 総合相談・創業支援グループ

TEL 0776-67-7406

FAX 0776-67-7429

▶新分野展開スタートアップ支援

平成23年度に、ふるさと産業の元気再生を図ることを目的として、県内金融機関と県が協力して「ふるさと企業育成ファンド」を創設しました。その運用益により、県内中小企業の新分野展開を支援する「新分野展開スタートアップ支援事業」と、県内企業への技術系人材の就職を促進する「ものづくり人材育成修学資金貸与事業」の2つの事業を実施しています。

新分野展開スタートアップ支援事業(助成金)の概要

募集期間 4月22日～5月31日

対象 福井県内に主たる事業所があって1年以上の事業実績があり、過去3年間の平均または前事業年度の売上額が年間10億円未満の中小企業者・個人事業者・事業協同組合

対象事業 既存事業の経営資源を活用した経営の多角化や事業転換を行う取り組み

助成率および助成限度額

新商品開発、施設・設備、販路開拓にかかる費用

◆助成率: 2/3以内

◆助成額: 100万円～1,000万円

助成金の応募から採択までの流れ

①事業実施計画書の作成(助成対象事業者)

まずは、商工会議所・商工会、および金融機関にご相談ください。事業計画の磨き直しをお手伝いし、実現性の高い計画づくりを進めます。

②審査・採択(支援センター)

④助成金交付(支援センター)

事業終了後、助成金を交付します。また、定期的なフォローアップも行います。

③事業の実施(助成対象事業者)

新分野展開スタートアップ支援事業の採択企業(平成24年度)

(株) 下村 漆 器 店	次世代給食サービス「インカートクックシステム」のパッケージ開発・販売事業
(株) サザンパワー	からあげ専門店「王様のからあげ」事業拡大及び事業展開による福井食材の拡販
(株) イワシタ	半導体新素材とガラス新素材の研削加工専用機械の開発
クッキング福井(株)	地産地消をベースとしたふくいフードビジネスの新規展開と需要創出及び地域協働推進活性化事業
(株) ドラフト	レディースアパレル販売サイトの仕上げ・福井発オリジナルブランドの立ち上げ
(株) 木工房蔵	手作り「三連時計」販売における新店舗展開事業
(株) 宮川造園	木質バイオマス燃料・廃棄木質再生堆肥製造販売事業
中山商事(株)	幼児、子ども向け「知育教材」を使った、脳力育成カリキュラムシリーズ第1弾「きょうりゅう将棋」
(有) 松田水産	インターネットによる魚介類発注システム「会員制さかな市場」の全国展開

お問い合わせ先

ふるさと産業支援部 総合相談・創業支援グループ

TEL 0776-67-7400 FAX 0776-67-7429

▶ 福井ビズカフェ

「福井ビズカフェ」は、「福井を元気に！」「楽しく真面目にビジネスについて語りあう場を！」という趣旨のもと、当センターと県内の若手経営者とタッグを組んで始める新しいカタチのビジネス交流会です。創業予定の方、創業に興味をお持ちの方、社内で新しい事業を立ち上げたいとお考えの方を対象にしたセミナーとディスカッションを開催します。

受講対象者／どなたでも受講いただけます 受講料／無料
会場／県内各地で開催予定 定員／20名程度(1会場あたり)
申込／事前のお申し込みをお願いします(定員に満たない場合は、当日も受け付けます。ご希望の方はお問い合わせください。)
※当センターホームページからも申込できます。

内容／《平成24年開催例》

- 創業 & 新規事業を始める方のためのソーシャルメディア活用の王道
- 男性からみた、女性のスゴイ起業力
- お客様を心の底から喜ばせる仕掛け術
- 発想力を上げ、イメージを形にする方法
- 成果報酬型ホームページ制作のホントのところ教えます
- マルチデバイス時代のWebデザインとは

！ 活用ポイント

- ◆ 創業や新しいビジネス展開に役立つノウハウや人脈を得ることができます。
- ◆ 創業や新しいビジネス展開に関する相談ができます。



お問い合わせ先

販路開拓支援部 Eビジネス支援グループ

TEL 0776-67-7411

FAX 0776-67-7439

▶ 設備貸与制度

当センターが小規模企業者等に代わり設備を販売業者から購入し、「割賦販売」または「リース」を行う制度です。

対象企業

小規模企業者等

製造業・建設業・運送業等(従業員数20人以下)
商業・サービス業(従業員数5人以下)

〔従業員50人以下で一定の要件を満たす企業は利用できる場合がありますので、お問い合わせください。〕

対象設備

創業及び経営基盤の強化(※)を図るために必要な原則新品で県内に設置される設備

〔※経営基盤強化とは、設備導入により付加価値額(営業利益、人件費及び減価償却費の合計)または従業員1人当たりの付加価値額が5年間で10%、4年間で8% または3年間で6%以上向上すると見込まれるものです。〕

！ 設備貸与制度のメリットは？

- ◆ 割賦損料率(金利相当分)が低利
- ◆ 契約期間中は割賦損料率、月額リース料率ともに固定
- ◆ 信用保証協会の保証枠や金融機関の借入枠とは無関係なので、運転資金などの資金調達に余裕ができる
- ◆ 公的機関による国の制度なので安心

割賦販売制度

貸与限度額／100万円以上、8,000万円以下
貸与期間／3年～7年(法定耐用年数以内)
支払方法／6ヶ月据置の月賦または半年賦支払
保証金／貸与価格の10%

料 率	割賦損料率(年率)
H25年度	3～4年:1.5% 5～6年:1.6% 7年:1.7%

料率は年度で変わる場合があります

リース制度

貸与限度額／100万円以上、8,000万円以下
貸与期間／3年～7年(法定耐用年数により決定)
支払方法／引渡日の翌月より毎月支払
保証金／不要

料 率	月額リース料率(契約期間中固定)
H25年度	3年:2.937% 6年:1.546% 4年:2.242% 7年:1.351% 5年:1.823%

お問い合わせ先

ふるさと産業支援部 経営革新・コンサルグループ

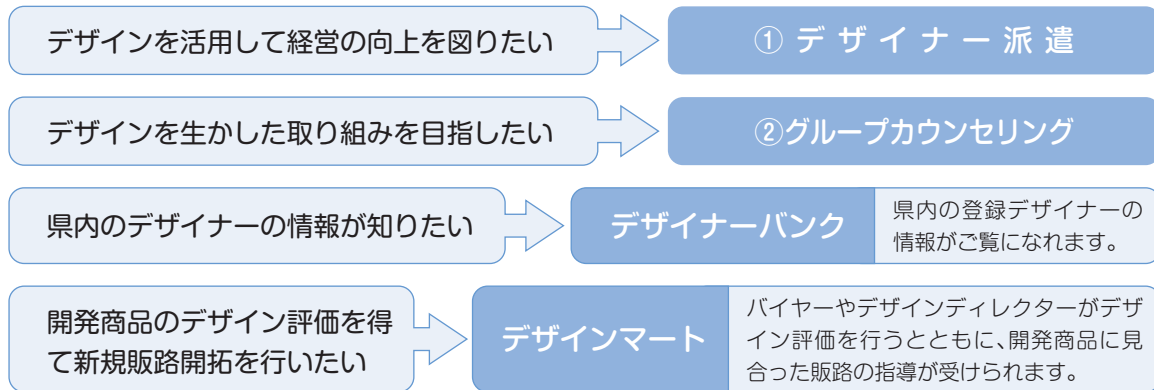
TEL 0776-67-7425

FAX 0776-67-7429

▶ デザイン支援

売れる商品開発や販売促進、店舗設計など、マーケティングの重要な要素としてのデザイン支援について、経験豊富なデザイナーが実践的指導、助言を行います。

デザイン専門職員による適切な事業マッチング



① デザイナー派遣

商品開発のデザイン、販売促進のデザイン、展示会の企画デザインなど、様々な分野で活躍するデザイナーをニーズに合わせて派遣します。

対象 デザインを活かした経営の向上を目指す県内中小企業等

費用 具体的な指導を行う費用として、デザイナー謝金がかかります。

1回40,000円のうち20,000円が企業負担となります。

※旅費など実費は全額企業負担となります。 ※負担金額等は変更になる場合があります。

利用回数 1企業あたり10回まで。(件数に制限があります。)

※ご利用できない場合があるので、事前にご確認ください。

! 活用ポイント

◆ 経験豊富なデザイナーの指導を受けて、自社では困難な商品企画やデザイン開発などの課題が克服できます。※新商品開発の際には、商品企画の段階からのご活用をお薦めします。

◆ 少額の費用負担で専門的なアドバイスが受けられます。

② グループカウンセリング

団体、企業グループを単位として、県外の第一線で活躍するデザイナーから、最新の市場動向やヒット商品動向などの情報を聞いたり、共通するデザイン面での課題についてアドバイスを得たりすることができます。

対象 デザインを活かした取り組みを目指す県内組合・団体、企業グループ
(中小企業を含む3社以上)等

費用 無料 ※デザイナー謝金、旅費の全額を当センターが負担します。

ただし、企業の方の旅費およびその他の実費は自己負担となります。

利用回数 1グループあたり2回以内(県外デザイナーの指導が前提です。)

お問い合わせ先

デザイン振興部

TEL 0776-55-1756

FAX 0776-55-1759

▶ 新技術・新工法展示商談会

福井県の先端技術や繊維、眼鏡等の産業が培った特色ある優れたものづくり技術を、県外大手製造メーカー向けに一堂に展示する取引商談会を開催します。

平成25年度 富士重工(株)

日 程 平成25年11月中旬(1日間)

商談対象 富士重工業(株)の開発・設計、生産技術、購買、原価企画等
(主に自動車部門)、富士重工業(株)関連企業

会 場 富士重工業(株) 群馬製作所

募集対象 商談先の企業に対して、従来の技術や工法と比較して優位性のある新技術・新工法を提案できる県内企業または、将来、開催企業関連業種への応用技術や開発テーマを提案できる企業等

出 展 料 3万円

※開催日時が決まりましたら、当センターホームページでお知らせします。

応募企業の技術をどのように自動車分野にアピールできるか、プロジェクトマネージャーや職員等と一緒に考え、効果的なマッチングをお手伝いします。

! 展示商談会出展のメリット

- ◆ 単独ではアプローチがしづらい大手企業に対して、展示商談会を通して取引のきっかけづくりができます。
- ◆ 自動車分野メーカー等のニーズを知ることができ、異分野展開等の手がかりをつかめます。 など

お問い合わせ先

技術開発部

TEL 0776-55-1555 FAX 0776-55-1554

販路開拓支援部 販路開拓営業チーム

TEL 0776-67-7407 FAX 0776-67-7419

▶ 国際特許出願支援

業績を伸ばしている中小企業が、国外市場への進出や販路拡大を行いさらに飛躍するためには、保有技術を特許出願し権利化することや意匠・商標でブランド化を図ることは重要です。そこで、国外での特許権等の取得を促進するために、出願費用を助成します。

特許等出願費用助成の概要

◆ 対象企業：福井県内に本社を置く中小企業

◆ 助成対象経費：

外国への特許、実用新案、意匠、商標および冒認対策商標に関する以下の出願経費。外国特許庁への出願手続が完了することが条件となります。

◆ 助成率：

助成対象経費のうち、1/2以内を助成します。
(上限は、特許150万円、実用新案・意匠・商標60万円、冒認対策商標30万円)

◆ 採択件数：10件程度

助成対象経費に認められるもの

外国特許庁への出願に要する経費

- ① 外国特許庁への出願に要する経費
- ② 外国特許庁に出願するための現地代理人に要する経費
- ③ 外国特許庁に出願するための国内代理人に要する経費
- ④ 外国特許庁に出願するための翻訳に要する費用
- ⑤ 理事長が特に認める経費 など

助成対象経費に認められないもの

日本国特許庁への出願に要する経費

- ① 国内出願に要する経費
- ② PCT出願経費(国際出願手数料、国際調査手数料、送付手数料、優先権証明書、予備審査手数料、日本国特許庁への国内移行手数料等)
- ③ 国内出願・PCT出願の弁理士費用

お問い合わせ先

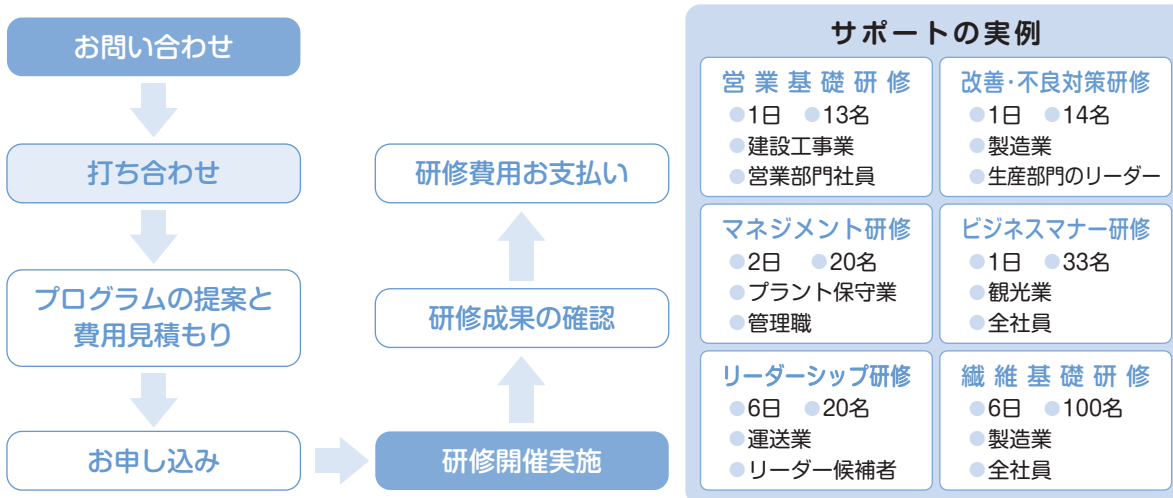
技術開発部

TEL 0776-55-1555

FAX 0776-55-1554

▶ オーダーメイド研修

中小企業産業大学校は、社員研修や組合員研修など、独自の教育計画を希望される企業、団体をサポートします。直面している課題やこれからの問題について、実施したい研修内容をお聞きしながら、研修テーマを設定し、予算やスケジュール等に応じたオーダーメイド型のプログラムをご提案します。



お問い合わせ先

人材育成部(中小企業産業大学校)

TEL 0776-41-3775

FAX 0776-41-3729

▶ 福井県中小企業産業大学校 施設

中小企業の人材育成を行うことを目的とした施設です。

大学校で行う人材育成研修だけでなく、企業や団体が行う研修、社内会議・ミーティングの場としてもご利用になれます。また、宿泊施設を完備しておりますので、宿泊研修でのご利用も可能です。

企業内研修・社内会議・宿泊研修の場をご提供します
～快適な環境でご利用いただけます～

- ◆ 108名から少人数(2~6名)まで多種類の会場を用意
- ◆ 宿泊施設・体育館を併設、目的に応じた幅広い活用が可能
 - 研修施設と宿泊施設を同時に確保でき、便利でリーズナブル
 - 研修後の懇談会やレクリエーションも移動不要
 - 宿泊室A(ツイン22室)と宿泊室B(シングル1室)を完備(45名まで宿泊可)
- ◆ ブロードバンド(光ファイバー)に対応
 - 無線LANインターネット環境を整備
 - 教室・宿泊室・・・最大100Mbpsの高速インターネットが無料で利用可能
 ※無線LANカード内蔵のパソコンをご持参ください。
- ◆ 最大430台(共用駐車場350台)分の無料駐車場を完備

施設の空き状況はホームページ(<http://www.fisc.jp/rental/>)でご覧になれますが、念のため必ずお電話でご確認ください。



お問い合わせ先

人材育成部(中小企業産業大学校)

TEL 0776-41-3775

FAX 0776-41-3729

※福井県中小企業産業大学校は、福井県が設置し、指定管理の指定を受けた当センターが管理運営を行っています。

▶ IT研修

WordやExcel等の業務に役立つ実践的な研修や、インターネットを使った電子商取引など、企業でのIT活用に関する研修を実施しています。

研修・講座内容

- 業務活用研修
- Webサイト制作研修
- eビジネス研修
- システム管理者研修
- IT経営研修

研修期間 主に1日～3日

受講料 主に5,000円～20,000円

IT研修情報は、メルマガ、ホームページで紹介しています。

● ホームページ：<http://www.fisc.jp/pckouza/index.html>

● メルマガ：<http://www.fukui-navi.gr.jp/>

[ふくいナビ]→[イベント・研修]→[情報化]



おすすめ講座

業務活用研修 ホームページ制作入門

初歩的なホームページを作成する技術を習得します。「入門者にも分かりやすい」と人気のコースです。

対象 はじめてホームページを作成する方、ホームページを作りたい方

ポイント ホームページ制作がまったくゼロの方でも受講できます。ホームページを制作した経験のない方、これからホームページを作る方におすすめです。

お問い合わせ先

販路開拓支援部 Eビジネス支援グループ

TEL 0776-67-7411 **FAX** 0776-67-7439

▶ 福井県産業情報センター 入居施設

県産業情報センタービルでは、ITを積極的に活用する企業様向けに提供する「技術開発室」のほか、創業者を支援する「インキュベートルーム」、共同で行う研究・プロジェクトを支援する「共同研究室」など、成長ステージにあわせて3種類の利用形態を提供しています。

特徴 ● 敷金不要 ● 礼金不要 ● 共益費不要 ● 高速インターネット環境完備

インキュベートルーム ※㎡単価800円

ITを活用した創業や新規事業に取り組む方に事務所スペースを提供します。

タイプA 広さ27.13㎡ **タイプB** 広さ26.60㎡

技術開発室 ※㎡単価1,980円(創業年次、使用面積による割引制度もあります)

ITを活用して事業を行う企業向けに、高度なネットワーク環境を持つ事務所スペースを提供します。

タイプA 広さ109.74㎡※一部、54.87㎡での提供も可能 **タイプC** 広さ108.35㎡

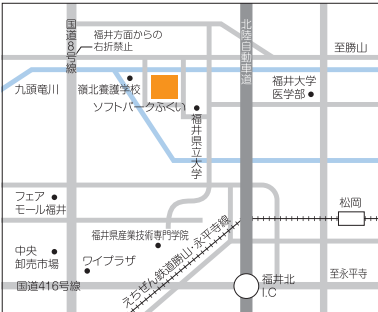
タイプB 広さ119.60㎡ **タイプD** 広さ83.95㎡

共同研究室 複数の企業で行う研究やプロジェクトを支援する事務所スペースを提供します。

お問い合わせ先

販路開拓支援部 Eビジネス支援グループ

TEL 0776-67-7411 **FAX** 0776-67-7439



ふるさと産業支援部／販路開拓支援部／総務部

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16(ソフトパークふくい 福井県産業情報センタービル内)
 TEL : 0776-67-7400(代表) FAX : 0776-67-7429
 E-mail : info@fisc.jp URL : http://www.fisc.jp/

交通アクセス

【バス】 ■福井方面からお越しの方

- ・京福バス 大学病院線 (JR福井駅前市内バス乗り場11番)
- ・京福バス 大学病院線・新田塚線(JR福井駅前市内バス乗り場11番)
- ・京福バス 大学病院線・中藤線 (JR福井駅前市内バス乗り場11番)

■丸岡方面からお越しの方

- ・京福バス 本丸岡・松岡線(本丸岡バス乗り場)

■松岡方面からお越しの方

- ・京福バス 本丸岡・松岡線(えちぜん鉄道松岡駅バス乗り場)

※いずれも「県立大学」下車、徒歩約5分(所要時間約20～50分)

【乗用車】

- ・JR福井駅より約30分
- ・北陸自動車道「福井北I.C」より約5分
- ・北陸自動車道「丸岡I.C」より約20分



人材育成部

〒918-8135 福井県福井市下六条町16-15(福井県中小企業産業大学校内)
 TEL:0776-41-3775 FAX:0776-41-3729
 E-mail:manabi@fisc.jp

交通アクセス

【バス】

- ・京福バス 羽水高校線(JR福井駅前市内バス乗り場9番)
- ・京福バス 西大味線 (JR福井駅前市内バス乗り場9番)

※いずれも「県産業会館・厚生病院」下車、徒歩約1分

【乗用車】

- ・JR福井駅より約15分
- ・北陸自動車道「福井I.C」より約20分



技術開発部／デザイン振興部

〒910-0102 福井県福井市川合鷺塚町61字北福田10(福井県工業技術センター内)

【技術開発部】

TEL : 0776-55-1555 FAX : 0776-55-1554

E-mail : fstr@fisc.jp

【デザイン振興部】

TEL : 0776-55-1756 FAX : 0776-55-1759

E-mail : dcf@fisc.jp

交通アクセス

【電車】

- ・JR北陸本線・春江駅より徒歩約25分
- ・えちぜん鉄道 三国芦原線 鷺塚針原駅より徒歩約15分

【バス】

- ・京福バス 運転者教育センター線(JR福井駅前市内バス乗り場10番「つくし野団地」下車、徒歩約3分)

【乗用車】

- ・北陸自動車道「福井北I.C」より約25分

【飛行機】

- ・小松空港から連絡バスでJR福井駅まで約70分
 JR福井駅から路線バスをご利用ください。